

# トウキ（当帰）

## 語源

当帰の名の由来には次のような説がある。(1)子供ができないために実家に戻された嫁が、当帰を服用して妊娠できる元気な体になって婚家に「当(まさ)に帰る」ことができた、(2)病気で子供ができず夫に浮気された嫁が、当帰を服用して元気になり、しかも前より美しくなり「夫、当(まさ)に帰る」ことになった、など。色々な説があるが、いずれも当帰が婦人薬として頻用されたことを示している。

## 基原

トウキ *Angelica acutiloba* Kitagawa  
またはホッカイトウキ  
*Angelica acutiloba* Kitagawa var. *sugiyamae* Hikino  
セリ科 多年草

トウキには、オオブカトウキとホッカイトウキの二つの系統がある。一般的に、トウキと呼ばれるものは「オオブカトウキ」で、奈良・和歌山県境に近い「大深」地方にちなむ。江戸時代からは「ヤマトトウキ(大和当帰)」として知られていた。一方、ホッカイトウキとは、明治以降、北海道に導入された栽培種(由来に関しては定かでない)。

## 薬用部分

根

## 産地

日本、中国、韓国

## 主な薬効

補血、滋養強壮、鎮痛、鎮静薬として貧血、冷え症、月経不順などの婦人病に用いられる。血液循環を高める作用があり、充血によって生じる痛みを緩和する。

## 主な成分

精油： リグスチリド、n-ブチリデンフタリド、サフロール  
脂肪酸： パルミチン酸、リノール酸  
クマリン誘導体： ベルガプテン、スコポレチン

## 代表的処方

主として漢方処方用薬であり、婦人薬、冷え症用薬、保健強壮薬、精神神経用薬、尿路疾患用薬とみなされる処方及びその他の処方に比較的高頻度で配合されている。また、配合剤（婦人用薬）の原料とされる。

## 【四物湯】

シモツトウ  
胃弱ではないが腹部軟弱で、臍の上部に動悸がある（<sup>おけつ</sup>瘀血塊によるものといわれる）、貧血、下部出血、月経異常、血の道症、不妊症、産前産後の諸病、乾性皮膚病、カリエス。婦人諸疾患の要薬である。皮膚が乾燥し、色つやの悪い体質で胃腸障害のないものの次の諸症：産後あるいは流産後の疲労回復、冷え症、しもやけ、しみ  
(処方内容) 当帰／川芎／芍薬／地黄

## 【抑肝散】

ヨクカンサン  
神経症、不眠症、血の道症、更年期障害、チック症、脳出血後遺症、小児夜啼症、くる病、癩癩持ち、歯ぎしり、舞踏病、神経性斜頸、眼瞼けいれん、眼筋麻痺、高血圧症、常習性頭痛、ヒステリー  
(処方内容) 当帰／釣藤鈎／川芎／朮／茯苓／柴胡／甘草

## 文献報告

### 【貧血改善】

Water-soluble extracts from *Angelica acutiloba* Kitagawa enhance hematopoiesis by activating immature erythroid cells in mice with 5-fluorouracil-induced anemia. *Exp Hematol.* 2004, 32, 918-24

### 【記憶改善・認知改善】

Determination of the effectiveness of components of the herbal medicine Toki-Shakuyaku-San and fractions of *Angelica acutiloba* in improving the scopolamine-induced impairment of rat's spacial cognition in eight-armed radial maze test. *J Pharmacol Sci.* 2004, 96, 33-41

### 【鎮痛】

Anti-nociceptive substances from the roots of *Angelica acutiloba*. *Arzneimittelforschung.* 1977, 27, 2039-45

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方」「和漢薬の事典」「家庭の民間薬・漢方薬」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力  
**福田龍株式会社**

(お問い合わせ) 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11  
TEL：06-6364-5861 FAX：06-6364-6562  
URL：www.fukudaryu.co.jp

